

株主のみなさまへ

これからも社会に深く根差した企業として、 その課題解決に貢献してまいります。

株主のみなさまには平素よりOKIグループの経営に対しまして多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、大阪府北部を震源とする地震、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震などにより被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復興を、グループ社員一同心よりお祈りいたします。

OKIは現在、社会が迎えているデジタル変革という大きなトレンドの中で、経営を取り巻く環境が大きな転換点に差し掛かっていると認識しています。キャッシュレス化や5G時代の到来、こうした変化はビジネスに関する脅威となるとともに、挑戦する者にとっては大きなチャンスになると私は考えています。そのため、機動的に事業戦略を見直し、共創によるイノベーションの取り組みを加速しています。今期の業績は、これまで順調に推移しています。

OKIは、経営環境の変化が指し示す社会の将来像を適切に見据え、社会に深く根差して貢献していく企業であり続けたいと願っています。そしてこれからも、さまざまな社会課題の解決と、人々のより快適な生活の実現を目指していきます。

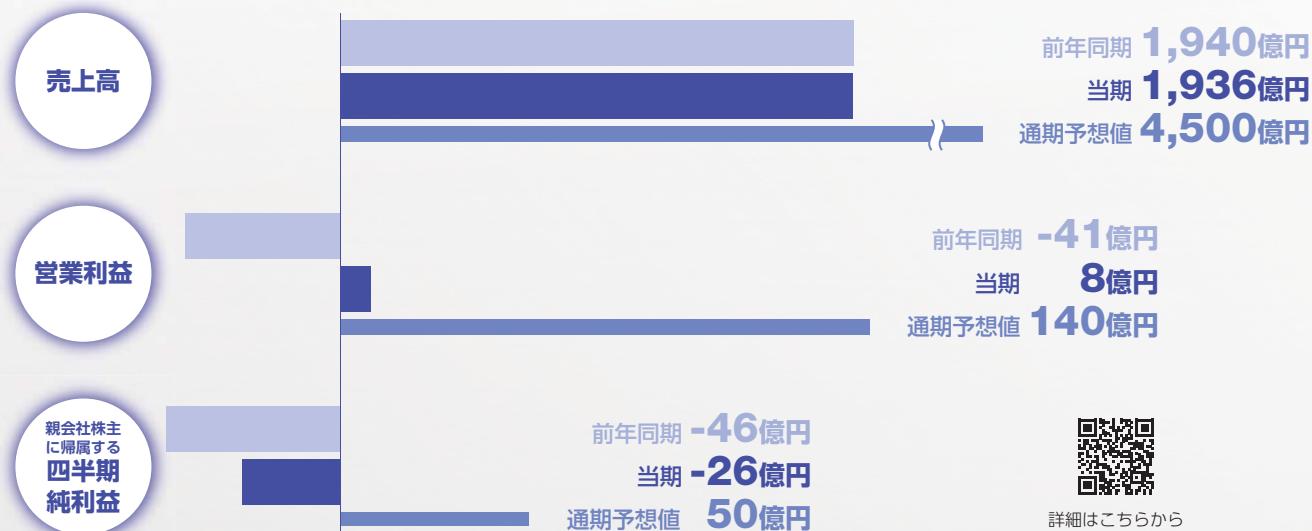
2018年12月

代表取締役社長

鎌上信也



2018年度第2四半期累計期間業績



詳細はこちらから

第2四半期累計 業績の ポイント

- 情報通信事業、EMS事業は概ね計画どおり、堅調に推移
- メカトロシステム事業は、収益改善を目指し構造改革を計画どおりに推進中
- プリンター事業は、固定費構造改善と為替の効果を中心に大幅増益

第2四半期累計期間の売上高は、EMS事業での新規連結効果がメカトロシステム事業での減収を補い、ほぼ前年並みとなりました。営業利益は、売上構成の改善やコスト削減効果などにより、すべてのセグメントにおいて前年同期比で改善しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業外為替差損や、メカトロシステム事業での構造改革費用を特別損失として計上したものの、前年同期比で大きく改善しました。

配当につきましては、期初計画のとおり中間配当は行わず、期末配当50円を予定しております。